

おはようございます！ 現在8時30分。晴れています。
朝から、多くの生徒がボランティアで掃除をしてくれました。
正面玄関、生徒玄関、廊下など。ありがとう。

さて、また、また、また、鹿島しのぶ氏の著より、人格を向上させるための知恵を拝借したいと思います。

「 『人のふり見て我がふり直せ』ではありませんが、人が口にするのを聞いたときに、なんとなく嫌だなと思う言葉は、自分でも使わないことです。 」

「 自分が楽しんでいるときも、周りの人に気を配れる余裕を持てる人が、『品がいい』と言われる人なのです。 」

「 電話を切るとき、相手が電話を切るのを待つちょっとした余裕を持つだけで、相手に与える印象は変わるもの。ほんの1、2秒でも『待つ』という余裕が、あなたの優雅さを演出する。 」

「 怒りや焦りといった負の感情に負けて、攻撃的な言葉を口にすれば、その人の持つ本来の才能や技術にかかわらず、一瞬で『品性を欠いた人』だという印象を与えてしまうことを、知っておきましょう。 」

鹿島氏、たくさんのお知恵をありがとうございます。
本当に、日々精進なり。